



# 序章 町の歩みと概況

# 序章 町の歩みと概況

## 1. 町の歩み

1889年（明治22年）の町村制施行により、松伏、大川戸、田島、上赤岩、下赤岩の5か村が合併して松伏領村と、金杉、魚沼、築比地の3か村が合併して金杉村が誕生しました。

その後、1955年（昭和30年）の町村合併促進法によって、松伏領村と金杉村の2か村が合併し、新たに松伏領村が誕生、1956年（昭和31年）に名称を松伏村と変更したのち、1969年（昭和44年）には町制を施行し、現在の松伏町に至っています。

昭和40年代の高度経済成長期には、都心のベッドタウンとして人口が増えはじめ、1987年（昭和62年）の外前野特定土地区画整理事業により一層増加しました。

1991年（平成3年）のバブル経済崩壊以降は、地価の下落により、本町の人口はゆるやかな増加に転じ、2001年（平成13年）には人口が3万人を超えましたが、2009年（平成21年）をピークに、人口は減少傾向にあります。2020年（令和2年）の国勢調査では、松伏町の人口は28,266人となっています。

## 2. 町の概況

松伏町は、埼玉県東南部、都心から30km圏内に位置しています。西は大落古利根川を挟んで越谷市、南は吉川市、北は春日部市と接しており、中央部を中川が南北に流れ、東は江戸川を挟んで千葉県野田市に接しています。

町域は、東西約4km、南北約7.5kmと南北にやや細長く、面積は16.20km<sup>2</sup>で、県内市町村で8番目に小さな町です。

町に鉄道は通っていませんが、町内から、東武伊勢崎線（東武スカイツリーライン）北越谷駅、せんげん台駅、JR武蔵野線吉川駅、南越谷駅、越谷レイクタウン駅、東武野田線（東武アーバンパークライン）愛宕駅、野田市駅の各駅に、民間の路線バス網が整備されています。

道路は、南北方向に（県）春日部松伏線、（県）葛飾吉川松伏線と（都）松伏越谷線が、東西方向に（県）越谷野田線が通っています。

南北方向に（都）東埼玉道路、東西方向に（都）浦和野田線（一部供用開始）の整備が進められ、周辺道路の混雑緩和や地域の活性化が期待されています。

### 3. 位置図



